



1971年5月2日生まれ。大阪府出身。神戸薬科大学卒業後、2度目で薬剤師国家試験に合格。大手予備校に就職し、看板講師に。2007年5月「メディセレ」を設立し、代表取締役社長に就任。同校では製剤学、薬剤師業務、心理カウンセラー養成クラスの講師として教鞭をとる。座右の銘「絶対的プラス思考」、趣味「茶道、華道、琴、ピアノ、テニス、ゴルフ」、尊敬する人「父親」。

いるという。もともと起業する気がなかったことから「経営者として企業を大きくすることは、関心はない人が幸せになるように協力していき

増えたことで、裏方のイメージが強かった薬剤師が注目されるようになってきた。

そこで、薬剤師をめざす学生のために国家試験対策予備校を設立し、受験対策の講義から就職のサポート、さらにはメンタルケアまで行っているのが、大阪のベンチャー企業「メディセレ」だ。大阪産業創造館が毎年、ベンチャー企業の優秀なビジネスプランを認定する「ビジネスアワードおおさか」で昨年最優秀賞に選ばれ、業界内外で話題を集めている。

スクールでは国内初の心理カウンセラーメデイカルコースを開講。児島恵美子社長自らが心理カウンセラーであり、教壇に立つと同時に受験のストレスで悩む学生のメンタルケアも行う。また経験豊富で個性豊かな講師が揃っていると評判で、岡山や名古屋、東北から通う学生も

顔の見える薬剤師を育て薬学界を元気に 国内初、薬の知識を持った心理カウンセラーを養成

株式会社 メディセレ
代表取締役社長 児島 恵美子

「資格が取れるので将来が安定する」「就職がしやすい」などの理由で人気の高い薬学部。しかし薬学教育の世界はここ数年激動の時代を迎えている。2006年より6年制課程の修了が義務付けられたほか、学生数確保のために6年前から薬科大学、薬学部の新設が相次いでいる。その結果、薬剤師志望者が急増。薬学部を卒業しても国家試験に合格できないという厳しい現実が予測されている。つまり、門戸を広げたことで国家試験の合格レベルに達しない学生が増えている。

その一方、医療現場では医師や看護師不足が叫ばれ、チーム医療の必要性がますます高まっている。これまでは医師と看護師主導で医療現場を引っ張ってきた感があるが、チーム医療では薬剤師の専門知識やサポートが必要だ。また医薬分業が浸透し、処方箋調剤の薬局が